

会員減少と組織活性化のための改革（不易流行の視点から）

1. はじめに：現状の危機認識を全会員が共有

当地区は、長期的な会員数の減少が続いており、このまま推移した場合、**2055 年には会員数が 1,100 名を下回り、地区としての機能維持が困難になる**という予測が示されている。

また、会員数の減少は地区資金の減少を招き、奉仕活動の規模縮小やクラブ運営力の低下につながるなど、組織全体の活力を損なう深刻な問題となっている。

この危機を乗り越えるためには、**ロータリーの理念**という「不易」を守りつつ、時代に合わせた運営方法や活動スタイルという「流行」を柔軟に取り入れ、組織を再活性化するための方策を検討していく。

2. 会員数および地区資金の推移と予測

会員数の推移（1996～2056 年）	地区資金の推移（1996～2033 年）
1996 年：3,200 名	1996 年：44,800,000 円
2024 年：2,168 名	2024 年：31,890,000 円
2056 年予測：1,069 名（30 年後）	2033 年予測：28,512,341 円
信頼下限では 205 名 まで減少する可能性も示唆	

上記の数値は、地区としての組織力・奉仕力・財政力が大幅に低下することを意味し、早急な対策が不可欠であることからこの数年のうちに抜本的対策を検討し実行に移すことを検討していく必要がある。

また、会員減少に比例して地区賦課金の収入が減少、物価上昇の影響もあり、奉仕活動や研修事業の縮小が避けられない可能性もあり対策を検討しなければならない。

3. 危機の構造：負のスパイラル

現在の地区・クラブが直面している問題は、以下のような負の連鎖を形成している。

1. 会員減少 高齢化、退会増、若手入会の伸び悩み
2. 資金不足 会費収入減、補助金縮小、活動制限
3. 活動の陳腐化 毎年同じ奉仕、例会プログラムの固定化、魅力低下
4. クラブの魅力 入会希望者に訴求できない
5. さらなる会員減少

このスパイラルを断ち切るためには、組織文化・運営体制・活動内容の見直し、分区再編、再編によるガバナー選出、ガバナー補佐の配置と人数・役割の順守などを検討し見直せるものは見直すことも必要と思われる。

4. 組織運営における課題と改善

○ 委員会の自律性低下と経験継承の断絶

近年、委員会が主体的に活動せず、事務局に依存する傾向が強まっている。

その結果、役職者が本来得るべき経験や知識が蓄積されず、次年度への継承が困難になっている。

ロータリーは委員会が自律的に企画・運営することで活性化し、会員が成長しながら組織力を高める仕組みであるが、現状ではこの本来の機能が十分に発揮されていない。

○ 親睦の誤解とロータリー本来の姿の喪失

ロータリーの親睦とは、本来「奉仕活動を共に行うことで生まれる信頼と絆」である。

しかし、飲み会やゴルフなどの享楽的な活動を親睦と捉える風潮が強まり、奉仕を基盤とした親睦が軽視されている。

これにより、ロータリーの精神的価値が十分に伝わらず、特に若い世代にとって魅力が感じられにくい状況生まれている。

○ 前年踏襲によるマンネリ化とクラブ魅力の低下

例会内容や奉仕活動が固定化し、新しい挑戦が生まれにくい状況が続いている。

その結果、クラブの活力が失われ、入会希望者に対して魅力を十分に伝えられない。

「我がクラブは魅力あるクラブである」と自信を持って語れないことが、会員増強が進まない大きな要因となっている。

5. 不易流行の視点での課題整理

不易（守るべき本質）	流行（変えるべき手法）
・ 奉仕の理念「超我の奉仕」	・ 会員増強のアプローチ
・ 四つのテスト	・ 情報発信（SNS・動画・Web）
・ 職業奉仕・親睦・地域貢献	・ 若手・女性・企業との接点づくり
・ ロータリーの精神的価値と倫理観	・ 例会・奉仕活動のテーマと形式
	・ デジタル化・効率化

6. 意識改革のための重点施策

1. 危機の「見える化」

会員数・資金の推移と予測を全クラブで共有し、行動喚起を促す。

2. 若手向け入会説明会の開催

20～40代を対象とした地区主導の説明会を定期開催する。

3. SNS・動画による情報発信強化

クラブ紹介動画、会員の声、奉仕活動の記録を積極的に公開する。

4. 地区横断プロジェクトの推進

複数クラブが連携し、規模の大きい奉仕活動を実施する。

5. 企業・団体会員制度の活用

法人枠を活用し、多様な人材と財政基盤を確保する。

6. 委員会の自律性回復

事務局依存を減らし、委員会主体の運営体制を再構築する。

7. 例会・奉仕活動の刷新

前年踏襲を見直し、テーマ性・社会性のある活動を企画する。

8. 最終目標

「不易」を守りながら「流行」で進化し、

魅力あるロータリーを次世代へ引き継ぐこと。

この計画は、地区・クラブ全体が危機を共有し、行動へ移すための提案である。

ロータリーの価値を未来へつなぐため、全会員が主体的に取り組むことが求められることから地区内各クラブ、各委員会に理解を求めながら連携を図っていきたい。

会員数の推移と予測

